

## 令和元年度 事業報告書

自 平成 31 年 4 月 1 日

至 令和 2 年 3 月 31 日

### 概況

本年度の我が国経済は、米中貿易摩擦の影響で輸出は停滞を続けましたが、改元に伴う大型連休やラグビーワールドカップなど大型イベントの開催で個人消費が伸びたほか、設備投資が増加して経済の緩やかな回復を続けました。ディスプレイ市場も好調な設備投資に沿った建築系店舗内装需要や働き方改革に伴う職場環境改善需要などの取り込みが堅調に推移いたしました。台風による大きな水害や新型コロナウイルスの感染拡大など突発的な経済の押し下げ要因の発生が相次ぎ、将来不安がぬぐえない状況です。その中であって連合会は、6月の静岡御殿場における全国大会の開催をはじめ経常事業を推進するとともに、創立 50 周年記念行事の一環として 2025 年「大阪・関西万博」への提言をまとめ、協会に提出して更なる認知の向上と活性化に努めました。

### 令和元年度 主要事業・実績

#### 1. ディスプレイを通じて生活文化の向上及び国土景観の発揚に寄与する事業

##### ① 2025 年「大阪・関西万博」へむけてディスプレイ業界からの提言策定

特別委員会として「万博提言委員会」を設置し、全国より応募した 70 名のデザイナー・プランナーにより作業されました。次の万博を成功に導くための課題を抽出して、その解決の方策を掲げて展開アイデアを具現化し、それぞれのイメージを構築して提案を策定いたしました。所管の経済産業省クールジャパン政策課及び博覧会準備室の指導、監修を経て 11 月に公益社団法人 2025 年日本国際博覧会協会石毛事務総長に提出、12 月関西経済連合会松本会長に提出いたしました。

委員会の「策定」事業を 12 月に終了し、以降の活動は問い合わせ対応と告知啓蒙とし、翌 3 月に全構成員あて「提言書」を増刷して配布いたしました。

##### ② ディスプレイに関する表彰

経済産業省及び日本経済新聞社の後援を得て「ディスプレイ産業賞」の顕彰事業を実施し、応募総数 150 点より厳正な審査により大賞・経済産業大臣賞 1 点、特別賞・日本経済新聞社賞 1 点、優秀賞・経済産業省商務・サービス審議官賞 5 点、奨励賞・日本ディスプレイ業団体連合会賞 17 点、地域振興賞 1 点、入選 24 点を選出しました。11 月 1 日に贈賞式を東京永田町全国町村会館にてパーティー形式で 100 余名の参加を得て開催。入賞作品を収めた「年鑑ディスプレイ産業賞 2019」を発刊し、入賞者と全国構成員会社に配布いたしました。

### ③ ディスプレイに関する調査研究及び技術の高度化

- ・安全教育研修による安全基準の教育と研修

「職長・安全衛生責任者講習」を6月東京で実施し受講者34名、7月に愛知で実施し受講者は40名。また、新たに「フルハーネス型安全帯使用作業特別教育」を実施いたしました。8月に青森にて2日間延べ41名の受講、11月広島で実施29名の受講、3月に東京にて30名の受講者で実施予定です。

- ・その他ディスプレイに関する資格認定支援

商業施設士認定事業（商施連）への協力と広報を行いました。

また、イベント業務管理士事業（JACE）の広報を行いました。

## 2. ディスプレイを通じて地域の活性化に寄与する事業

### ① 各地におけるディスプレイ業の振興と雇用促進協力

ディスプレイの振興策としてディスプレイセミナーを7月に大阪で開催、学生、若年者を対象に約600名の参加者を数え、業界への理解と認識を深めると共に地域にすでにある職場の再評価と雇用の促進を図りました。

また、JAPAN SHOP2020（第49回店舗総合見本市）への協賛ほか展示協力を実施いたしました。

### ② 地域活性化促進事業

各地域で注目されたプロジェクトをクローズアップして選定する「地域振興賞」を設け、産業賞贈賞式にて褒賞しました。

## 3. ディスプレイを通じた産業の国際化に寄与する事業

### ① 海外諸団体との交流及び事業への協力

10月マニラで開催のAFECA総会出席、及びユースチャレンジに協賛いたしました。

② 11月20日中国深圳市ディスプレイ団体連合会メンバーを迎えて交流し、丹青社及び乃村工藝社を訪問視察対応いたしました。

## 4. 図書等の販売斡旋及び保険制度の斡旋等の事業

### ① 「年鑑ディスプレイ産業賞2019」の販売

### ② 「コンプライアンスガイド」の販売

### ③ 「年鑑日本の空間デザイン」の斡旋推進

④ 損害保険の斡旋は、「賠償責任保険制度」に今年度も100社を超える加入継続してその対応を実施いたしました。

## 5. 組織強化に資する事業

### ① 会員相互の交流

- ・第8回通常総会第51回全国大会を令和元年6月4,5日の両日、静岡御殿場にて開催、経済産業省クールジャパン政策課三牧課長はじめ多くのご出席を賜り、交流会は盛況に終えることができました。

- ・第12回全国青年交流会は7月12日仙台において開催され、全国から参加者が集い

明るく楽しい交流をはかることができました。

- ・全国事務局会を12月13日に東京日デ連事務所にて開催

## ② 広報事業

- ・機関誌「ND」を年4回発刊配布いたしました。
- ・ホームページにおいてタイムリーな情報発信に努め、各行事や会議開催の速やかな掲載を実行、そして検討準備中であったホームページリニューアルに着手いたしました。
- ・各種報道機関からの取材に対応し、出稿及び情報提供に努めました。
- ・会員・構成員名簿2020年版を作成して全構成員に配布。
- ・ディスプレイ関連催事への支援と協力を行いました。
- ・商業施設技術団体連合会の「学生デザインコンペ」協賛 ほか

## ③ 会員・構成員の増強

増強事業主幹を各地区委員会に変更した結果、構成員数は今年度29社増加して794社（令和2年2月20日現在）となりました。

## 6. その他

- ① 中小企業等経営強化法の経営力向上設備等に係る生産性向上要件証明書の発行を継続して対応いたしました。

## ② 外部団体との交流

(公社)商業施設技術団体連合会及び空間デザイン機構に、理事として事業運営に参画して会議・行事の参加と情報交換及び交流をはかりました。

(一社)日本屋外広告業団体連合会、(公社)全日本サイン協会、

(公社)日本サインデザイン協会の催事参加と情報交換会を行いました。

また、(一社)日本展示会協会、(一社)日本イベント産業振興協会、

(一社)日本イベントプロデュース協会、(一社)LED光源普及開発機構の催事への参加と交流を図りました。

以上